Konica

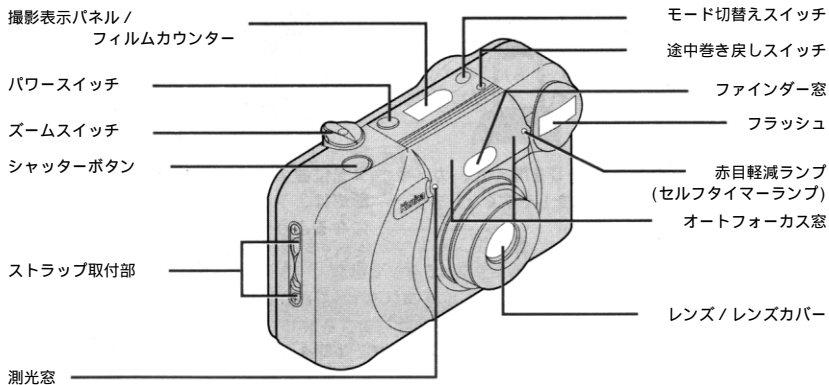
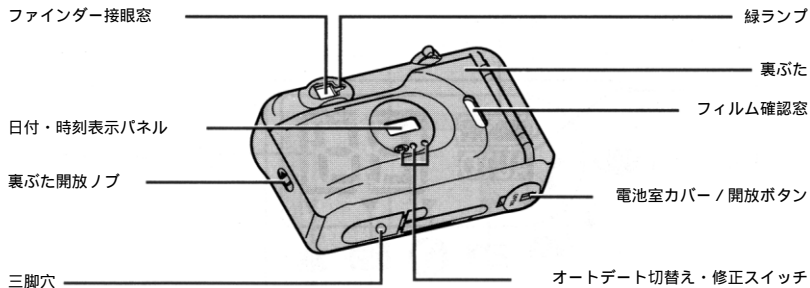
Z-up 70 Super

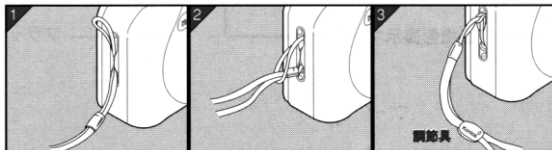
ご使用前に必ず
お読みください。

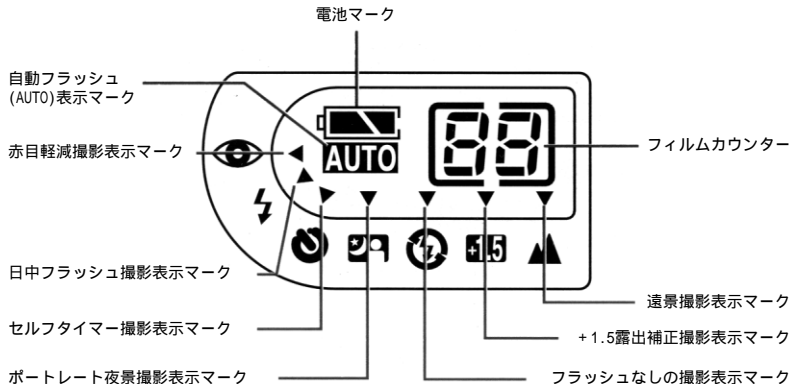
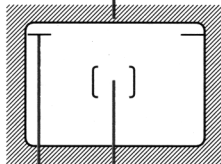
使用説明書

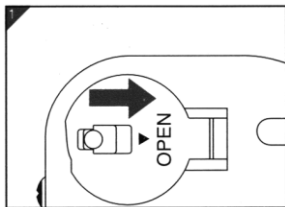
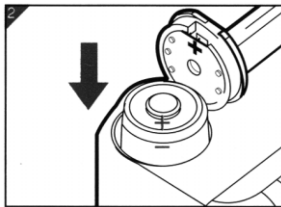
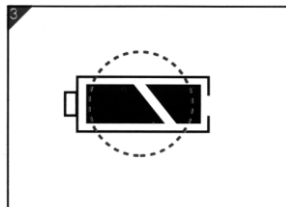
各部の名称

撮影表示パネル／
フィルムカウンター
パワースイッチ
ズームスイッチ
シャッターボタン
ストラップ取付部
測光窓
モード切替えスイッチ
途中巻き戻しスイッチ
ファインダー窓
フラッシュ
赤目軽減ランプ
(セルフタイマーランプ)
オートフォーカス窓
レンズ／レンズカバー

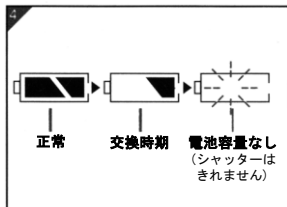
ファインダー接眼窓
緑ランプ
裏ぶた
フィルム確認窓
日付・時刻表示パネル
裏ぶた開放ノブ
電池室カバー／開放ボタン
三脚穴
オートデート切替え・修正スイッチ

ストラップの取付け方

＊ 調節具の突起部はSETスイッチまたは途中巻き戻しスイッチを押すときに使用してください。

撮影表示パネル

＊図は全ての液晶を点灯状態で示してあります。

ファインダーと表示ランプ

1．電池の入れ方

＊電池を入れた時、交換した時はオートデートの修正をしてください。

ストラップ調節具の突起部で電池室カバーの開放ボタンを矢印方向に押すと、電池室カバーが開きます。

電池の＋、－を電池室内の表示に合わせて入れ、カチッと音がするまで電池室カバーを閉じます。

撮影ONにしたとき、撮影表示パネルの電池マークが黒く点灯していれば、電池容量はOKです。

＊ 電池を入れたときにレンズが作動することがありますが、故障ではありません。

⚠ 警告	爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱、充電をしないでください。
⚠ 注意	発熱発火の危険があります。指定外の電池を使用しないでください。

使用する電池はリチウム電池(CR123Aまたは、DL123A：3V)１本です。

* 撮影の途中で電池マークが2/3白くなったら、最後まで撮影し、巻き戻し後、電池を交換してください。
* 長期間の旅行などには、予備の電池を用意しておくことをおすすめします。
* 連続してフラッシュ撮影すると電池容量が少ない表示になることがありますが、しばらく待ってから再度パワースイッチを押して電源ONにしたとき、電池容量が十分な表示になれば、そのまま撮影できます。
* 寒冷地では電池の性能が低下しますのでカメラを保温しながらご使用ください。まれに電池の容量が十分でも電池の容量がない表示になることがあります。このときは再度シャッターボタンを押してください。

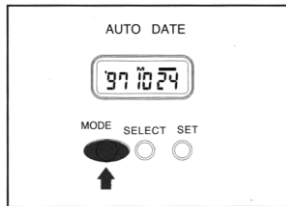
電池交換をするときのご注意

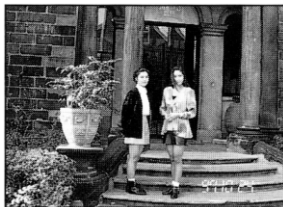
1) 電池交換をするときは必ず電源をOFFにしてから行ってください。
2) フィルムが入っているときは電池を手ばやく(10秒以内)入れ替えてください。

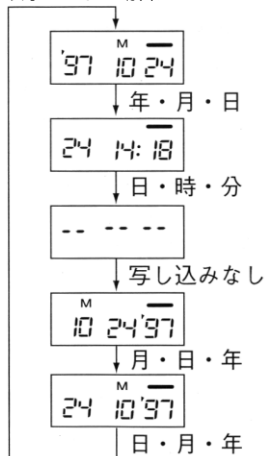
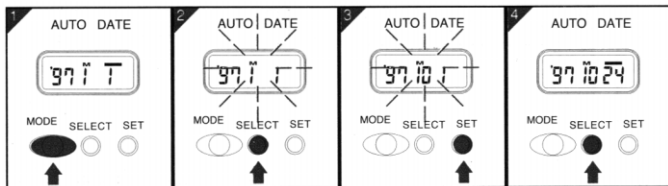
* 電池を交換して、電池室カバーを閉じるかパワースイッチを押したときに、フィルムカウンターが1になる場合がありますが撮影は続けられます。

3) フィルムの終わり近くで電池を交換すると、フィルムカウンターが0のまま点滅することがあります。このときは途中巻き戻しをしてください。

2．オートデート　＊日付・時刻を合わせてください。

2019までの日付・時刻を記憶し、画面に写し込むことができます。

オートデート切替え・修正スイッチのMODEスイッチを押して、年月日、日時分、写し込みなしなどを選びます。

＊ スイッチの操作は、ストラップの調節具の突起部で押してください。

写し込みの位置が明るい場合や白い場合は、デート文字がはっきり出ないことがありますので、ご注意ください。

表示モードの切替え

日付・時刻の修正

1 MODEスイッチを押して年月日を表示させます。

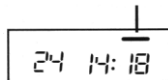
2 SELECTスイッチを押して修正する数字を点滅させます。

3 数字を点滅させたまま、SETスイッチを押し、修正します。

＊ SETスイッチは合わせたい数字が出るまで数回押してください。

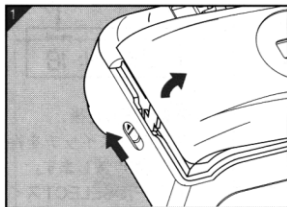
＊ 2 3の操作を繰り返し、年月日を修正してください。

4 修正がすべて終わったら、再度SELECTスイッチを押してください。
数字の点滅が点灯となり、ーの写し込みマークが現れて写し込み可能の状態になります。

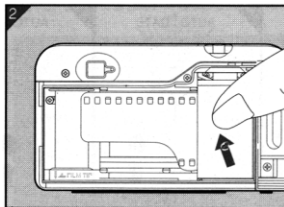
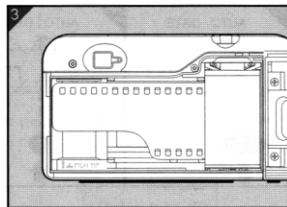
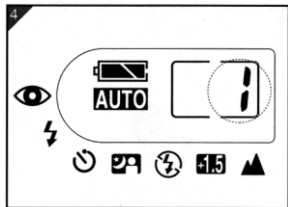
＊ 年月日修正後は必ず時刻も修正してください。時刻の修正はMODEスイッチを押して、日時分の表示にしてから2 3の操作を繰り返します。

＊ 分を修正した後、SELECTスイッチを押すと：が点滅します。もう一度SELECTスイッチを押して写し込み可能の状態にしてください。

＊ 秒まで合わせるには、：の点滅時に時報に合わせてSETスイッチを押し、さらにSELECTスイッチを押して、写し込み可能の状態にしてください。

3．フィルムの入れ方

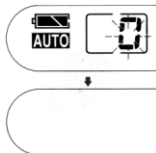
＊DXコードの着いた35㎜フィルムをご使用ください。

裏ぶた開放ノブを矢印(▲)の方向へ押し上げて、裏ぶたを開けます。

＊ カメラ内部のレンズに触れないようにご注意ください。

＊ フィルム確認窓を見ると、フィルムが入っているかどうかがわかります。

パトローネ(フィルムの容器)をカチッと音がするまで押し入れ、フィルムが平らに出るようにします。

フィルムを少し引き出し、先端をカメラ内部の先端マーク(▙◢ FILM TIP)に合わせてください。

裏ぶたを閉じるとフィルムは１枚目の撮影位置まで自動的に送られます。

＊ DX導入感度がISO25にセットされるフィルムは電源ONにしてから、さらにシャッターボタンを押してください。

フイルムが、

送られていないときは、

フィルムカウンターが 0 のまま約５秒間点滅した後、液晶表示が全て消灯します。裏ぶたを開けて、フィルムを入れ直してください。

＊ DXコードの付いたフィルムを入れると、使用フィルムの感度(ISO25～3200)が、自動的にセットされます。

＊ DXコードのないフィルムのDX導入感度は、すべてISO25にセットされます。

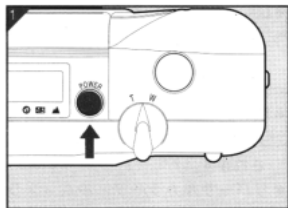
＊ リバーサルカラーフィルム(スライド用)は、下表のDX導入感度と同一感度のフィルムをご使用ください。

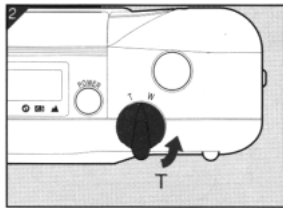
＊ コニカカラーフィルムのご使用をおすすめします。

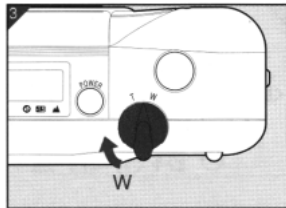
使用フィルム感度のDX導入感度

DX導入感度	25	50	100	200	400	800	1600	3200
使用フィルム感度	25	50	100	200	400	800	1600	3200
(ISO)	32	64	125	250	500	1000	2000	—
	40	80	160	320	640	1250	2500	—

4. 撮影方法(一般撮影)

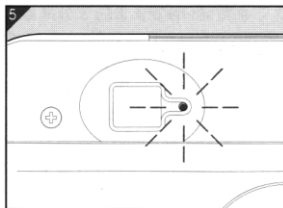
＊全ての撮影に共通する基本的な撮影の手順です。

パワースイッチを押してください。レンズカバーが開き、レンズが撮影位置(35㎜広角)まで繰り出され、電源ONになります。この時撮影表示パネルの液晶が表示されます。

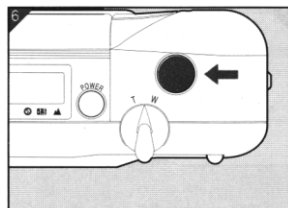
＊ 前面のレンズが汚れていたら柔らかい乾いた布で軽く拭きとってください。

ファインダー接眼窓をのぞきながらズームスイッチをT側に押すと、画面が望遠側に移動します。希望の構図になったとき、指を離して止めてください。

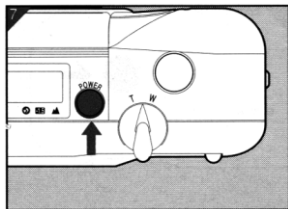
＊ レンズは望遠70㎜まで移動します。

ズームスイッチをW側に押すと、画面が広角側に移動します。希望の構図になったとき、指を離して止めてください。

＊ レンズは広角35㎜まで移動します。

＊ 被写体を大きくしすぎた場合、画面を広角側に戻すなど、構図の調整が迅速にできます。

ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカスフレームを合わせます。

シャッターボタンを半押しすると緑ランプが点灯し、自動的にピントが合います。

* シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅したときは、被写体が近すぎてピントが合わない警告でシャッターがきれません。

シャッターボタンをさらに深く静かに押し込み、シャッターをきってください。

* 撮影が終わるとフィルムが１コマ自動的に送られ、フィルムカウンターの数字が１つ進みます。

撮影が終わったらパワースイッチを押してください。
電源OFFとなり、レンズが収納され、レンズカバーが閉まります。

* 電源ONのまま約３分間操作をしないと、自動的にパワーOFFとなり、レンズが広角側(35㎜)に戻り、撮影表示パネルの液晶が消灯します。
* 続けて撮影しないときは、パワースイッチを押してレンズを収納してください。

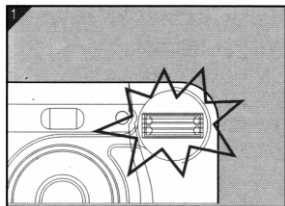
日中の撮影の距離

焦点距離	撮影距離
35mm〜70mm	0.8m〜∞

5．自動フラッシュ撮影

＊暗いときフラッシュが自動的に発光します。

暗い所でシャッターボタンを押すと、フラッシュが自動的に発光します。

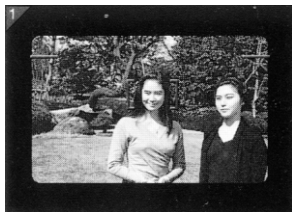
＊ このときのシャッター速度は、広角側で最長1/35秒まで、望遠側で最長1/70秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。

＊ フラッシュ充電中はロックがかかり、シャッターはきれません。
（充電時間・約５秒）

＊ 人物のフラッシュ撮影をするときは赤目現象を軽減するために赤目軽減撮影をおすすめします。

フラッシュ撮影の距離（ネガカラーフィルム使用の場合）

焦点距離	フィルム感度	撮影距離
35mm	ISO 100	0.8m〜3.2m
	ISO 400	0.8m〜6.4m
70mm	ISO 100	0.8m〜1.7m
	ISO 400	0.8m〜3.4m

6．フォーカスロック撮影

＊被写体を画面中央からはずしても
シャープに写せます。

ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しすると、緑ランプが点灯してピント位置が固定されます。

＊ フォーカスロックと同時に自動露出も固定されます。

シャッターボタンを半押しのまま希望の構図に決め直し、シャッターボタンをさらに深く静かに押し込みシャッターをきってください。

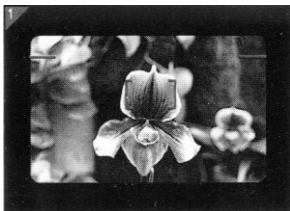
＊ 構図を決め直すときに撮影距離を変えないでください。

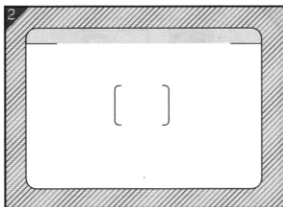
＊ 半押しした指をシャッターボタンから離すとフォーカスロックは解除され、やり直しができます。

オートフォーカスが正しく働きにくい被写体

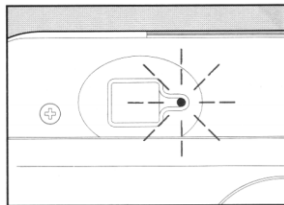
①反射しにくい黒いもの
②小さいもの、細かいもの
③発光体
④光沢のあるもの
⑤雨、霧、煙等の実体のないものは測距しにくいので、等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックをしてください。
ガラス越しの撮影も測距しにくいので、遠景では遠景撮影モードで撮影してください。

7． 近距離撮影

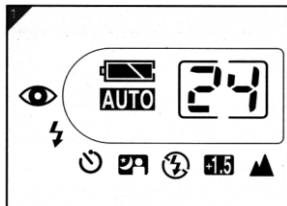
＊0.8mまで近づいて近距離撮影ができます。

0.8m～１ｍに近づいてピントを合わせたいものに、オートフォーカスフレームを合わせます。

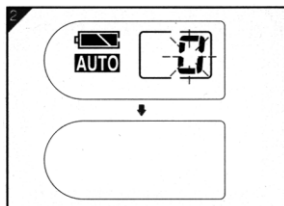
＊ レンズを望遠70㎜にセットすると、被写体がより大きく写ります。

ファインダー内の近距離補正マークより下側で構図を決め、シャッターボタンを押してください。

＊ 構図上、被写体がオートフォーカスフレームからはずれる場合は、フォーカスロック撮影をしてください。

＊ 三脚を使い、セルフタイマー撮影をすると、カメラぶれを防げます。

シャッターボタンを半押しして緑ランプが点滅したときは…

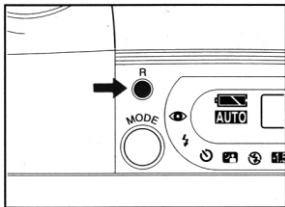
＊ 0.8mより近すぎてピントが合わない警告で、シャッターがきれません。シャッターボタンから指を離し、被写体から少し離れて、シャッターボタンを押し直してください。

8．フィルムの取り出し方

フィルムが最後になると自動的に巻き戻しが始まります。

＊ フィルムカウンターは、巻き戻しに連動して減算します。

巻き戻しが完了すると自動的に停止します。フィルムカウンターの0が約５秒間点滅した後、液晶表示が全て消灯しますので、消灯を確認した上で裏ぶたを開けてフィルムを取り出してください。

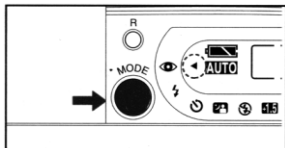
＊ フィルムの規定枚数より多く撮影した場合には、最後の画面が少し重なることがあります。

＊ 写し終わったフィルムは、お早めにDP店にお持ちになり、「コニカカラー百年プリント」とご指定ください。

途中巻き戻しの方法

途中巻き戻し(R)スイッチを、ストラップ調節具の突起部で押すと、撮影途中のフィルムの巻き戻しができます。

* 巻き戻し後の手順は、自動巻き戻しの場合と同じです。

9．モード切替えスイッチの操作

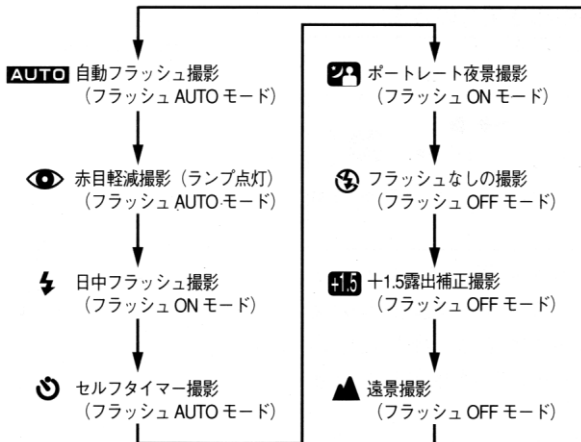
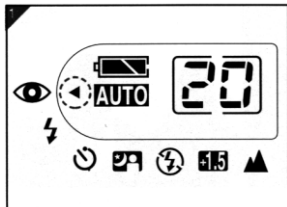
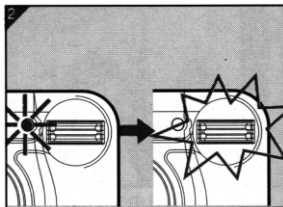
＊被写体に応じて最適な露出方法を選択できます。

モード切替えスイッチを押すごとに、撮影表示マーク(▼)が撮影表示パネル上の各撮影モードのマークを順次表示して循環します。

＊ 一度設定したモードは固定されそのまま撮影が続けられます。

＊ 撮影が終わったら AUTO に戻しておいてください。

＊ 電源をOFFにして、再度電源ONにすると、AUTO に復帰します。

＊ セルフタイマー撮影モードでは撮影毎に AUTO に復帰します。

AUTO 自動フラッシュ撮影（フラッシュ AUTO モード）
↓
赤目軽減撮影（ランプ点灯）（フラッシュ AUTO モード）
↓
日中フラッシュ撮影（フラッシュ ON モード）
↓
セルフタイマー撮影（フラッシュ AUTO モード）
↓
ポートレート夜景撮影（フラッシュ ON モード）
↓
フラッシュなしの撮影（フラッシュ OFF モード）
↓
+1.5 ＋1.5露出補正撮影（フラッシュ OFF モード）
↓
遠景撮影（フラッシュ OFF モード）
↓
（AUTO に戻る）

10. 赤目軽減撮影 ◉フラッシュAUTOモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を◉に合わせます。

シャッターをきると、撮影直前に赤目軽減ランプが点灯した後、フラッシュが発光して撮影が終わります。

＊ 赤目軽減ランプが点灯してからフラッシュ発光までは約0.5秒かかります。カメラを動かしたり、撮影される人物が動かないようにご注意ください。

＊ 明るい所ではフラッシュは発光しません。

＊ フラッシュ発光のときのシャッター速度は、広角側で最長1/35秒まで、望遠側で最長1/70秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。

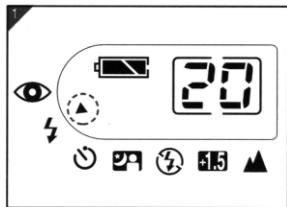
赤目現象とは…

暗い場所で人物のフラッシュ撮影をしたときに、フラッシュ光が目の網膜に反射して、目が赤く輝いて写ることがあります。
これを赤目現象といいます。

効果的な被写体

暗い場所での人物のフラッシュ撮影。

(赤目軽減ランプで瞳孔を小さくした上でフラッシュが発光するので赤目現象が軽減します。)

11. 日中フラッシュ撮影　ϟ フラッシュONモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ϟ に合わせます。

日中フラッシュ撮影

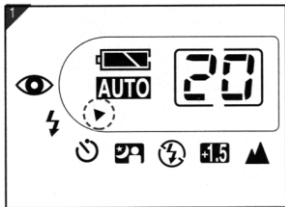
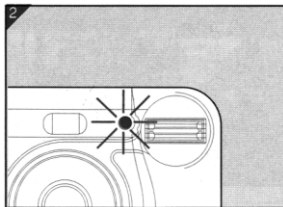
被写体に向けてシャッターをきれば、明るいところでもフラッシュが発光します。

＊ このときのシャッター速度は、広角側で最長1/35秒まで、望遠側で最長1/70秒までとなるのでカメラぶれにご注意ください。

フラッシュなし

効果的な被写体

①逆光の人物
②室内の窓際の人物
③曇り日の人物
④日陰の人物

12. セルフタイマー撮影　フラッシュAUTOモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)をに合わせます。

シャッターボタンを押すとセルフタイマーがスタートし、約10秒後にシャッターがきれます。

＊ セルフタイマーのスタートと同時に、赤目軽減ランプが約７秒点滅し、撮影の約３秒前から点灯に切替わります。

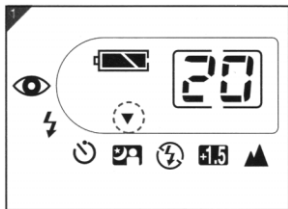
＊ 三脚をご使用ください。

＊ セルフタイマースイッチは、カメラの後側に立って押してください。前側からでは正しいピント、露出が得られません。

＊ 作動中にキャンセルしたいときは、パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。

＊ フォーカスロックもできます。

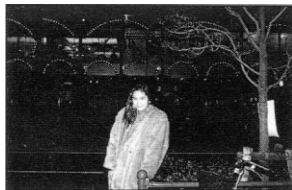
＊ 撮影終了でモードは解除されますので、続けてセルフタイマー撮影する場合はセットし直してください。

13. ポートレート夜景撮影　フラッシュONモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を に合わせます。

ポートレート夜景撮影

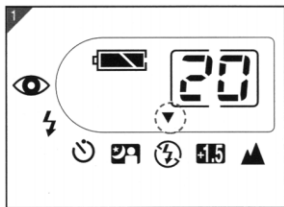
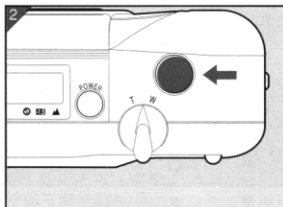
暗い場所で被写体に向けてシャッターをきれば、最長約２秒までのスローシャッターによるフラッシュ撮影ができます。

＊ カメラぶれを防ぐために、三脚をご使用ください。

＊ 被写体が動いているときは、ぶれて写ります。

自動フラッシュ撮影

効果的な被写体

①夜景の人物
②夕景の人物
③バックにフラッシュ光が届かない室内の人物

14. フラッシュなしの撮影 ⑮ フラッシュOFFモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ⑮ に合わせます。

被写体に向けてシャッターをきれば、最長約２秒までのスローシャッターによる自動露出撮影ができます。

＊ 暗い場所では、カメラぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

超スローシャッターによる撮影

効果的な被写体

①フラッシュが禁止されている、美術館での撮影
②都会の夜景
③日没時の風景

15.　＋1.5露出補正撮影　+1.5 フラッシュOFFモード

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を +1.5 に合わせます。

＋1.5露出補正撮影

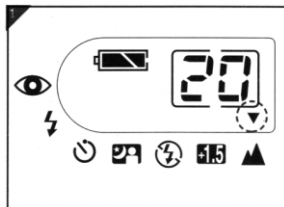
被写体に向けてシャッターをきれば、標準より約1.5絞り分明るい自動露出撮影ができます。

＊ 暗い場所ではカメラぶれを防ぐため三脚をご使用ください。

露出補正なしの撮影

効果的な被写体

①画面全体を明るく仕上げたいとき
②スキー場の人物
③逆光の人物
④白バックの人物
⑤明暗コントラストが強い建物の暗部を明るく写したいとき

16. 遠景撮影　▲フラッシュOFFモード

ガラス越しの風景を遠景撮影

一般撮影

モード切替えスイッチを押して撮影表示マーク(▼)を ▲ に合わせます。

オートフォーカスフレーム内の被写体に関係なく、遠景にピントのあった撮影ができます。

＊ 夕・夜景など暗いときの撮影はシャッター速度が遅くなりますので、カメラ、ぶれを防ぐために三脚をご使用ください。

効果的な被写体

①遠景撮影
②ガラス越しの風景

おもな仕様

＊下記製品については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。

項目	仕様
形式	：レンズシャッター式ズームレンズ付 AF全自動35mmカメラ
画面サイズ	：24×36mm
レンズ	：コニカズームレンズ35mm F5.2～70mm F9.8（5群5枚）、レンズカバー付
パワースイッチ	：電源ONでレンズカバーが開き鏡胴が繰り出す 電源OFFでレンズが収納されレンズカバーが閉じる、電源ONのまま約3分間操作をしないと自動的にパワーOFF
シャッター	：絞り兼用プログラムシャッター、電磁レリーズ、約1.7秒～約1/350秒
焦点調節	：赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲：0.8～∞、撮影範囲外レリーズロック（緑ランプ点滅）、フォーカスロック可能、遠景撮影可能
露出調節	：CdS 受光素子使用のプログラムAE, 中央重点測光
露出連動範囲	：ISO 100 f=38mm EV4～EV16 f=70mm EV5.8～EV16
フィルム感度	：自動設定（ISO 25～ISO 3200）
ファインダー	：実像式ズームファインダー、オートフォーカスフレーム、近距離補正マーク、ファインダーわきに緑ランプ（点灯；AE・AFロック、点滅；近距離警告
フラッシュ	：手ぶれ限界の低輝度時に自動発光する フラッシュマチック機構、連動範囲・(ISO 100) f=35mm 0.8m～3.2m、f=70mm 0.8m～1.7m 発光間隔・約5秒
モード切替え	：自動フラッシュ撮影、赤目軽減撮影、日中フラッシュ撮影、セルフタイマー撮影、ポートレート夜景撮影、フラッシュなしの撮影、＋1.5露出補正撮影、遠景撮影の各モードを選択可能（液晶表示パネルに表示）
セルフタイマー	：電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒点滅した後に約3秒点灯、途中解除可能
フィルム給送	：電動式、裏ぶたを閉じるとスタートするオートローディング、自動巻き上げ、フィルム終了でオートリターン、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター	：順算式、液晶表示パネルに表示
オートデート	：液晶表示式デジタルウォッチ内蔵、2019年までの年月日,日時分,月日年,日月年を表示、秒単位まで修正可能、写し込みなしも選択可能、平均月差±90秒以内
使用温度範囲	：-10℃～50℃
電池寿命	：50%フラッシュ発光のとき約15本（24枚撮りフィルム）
電　源	：リチウム電池 (CR123Aまたは、DL123A・3V) 1個
大きさ	：116×65×42.2mm
質量（重さ）	：210g（電池別）